

マムシに注意してください

マムシは、森林、藪、水場、川周辺、田畑、枯葉に混ざっていたり、岩場の隙間にいたりするので注意が必要です。全長45～80cm。体形は太短く頭は三角形。体色は淡褐色で銭型とも呼ばれる楕円形の斑紋があり尾は短いです。



特に昼下がりの草引きに注意してください

性質は臆病で、よほど接近しすぎない限りはマムシの方から人を咬みに来ることはありません。近寄らずに遠巻きに通り過ぎればほとんど害はありませんが、草むらで涼んでいる時にびっくりして咬まれるケースが多く、当院にも夕方の草引き時に咬まれて搬送されるケースが8割をしめています。どうしても草引きをする場合は手袋の着用と草むらに不用意に手を入れず道具を使用し視界をよくしてから作業にとりかかってください。

咬まれたらどうなるの？

咬まれると肌に二つの小さい牙の跡がつき、噛まれた直後から激しい痛み、灼熱感が生じます。20～30分すると咬まれた部分を中心に皮下出血が生じ、徐々に腫れあがってきて、全身症状として寒気・発熱・頭痛・吐き気・下痢・めまい・動悸・視力障害・運動障害などを伴うことがあります。



咬まれたらどうしたらいいの？

1

救急車を呼んで病院へ急ぎましょう。血清治療が必要な場合があります。必ず医師の診断を受けましょう。



2

毒が体内にまわらないように焦らず、慌てず、安静にする。腫れがひろがるため指輪や腕時計ははずしましょう。



3

咬まれた時間や状況が説明出来るようにメモをとっておきましょう。医師に伝えるときに役に立ちます。



4

腫れの広がりがわかるようにマジックで印をつけておきましょう。



5

咬傷部より心臓側で軽くハンカチで緊縛。（脈が触れる程度の緊縛でよい）

*ビニール紐など細いもので縛るのは循環障害を起こす可能性があるので使用しないでください。幅3 cm以上ある紐であれば大丈夫です。



軽く緊縛する



脈が触れる程度